

「難聴」

僕は、難聴者です。

難聴とは、聞こえにくい、または全く聞こえないという状態のことです。

僕は、様々な場面で苦勞することがあります。例えば、コミュニケーションを取るときです。難聴者のほとんどの人は、人工内耳や補聴器、手話を使ってコミュニケーションをとっています。僕の場合は、手話を使わずにコミュニケーションをとることができます。それは、補聴器をつけているからです。他にもロジャーという機器を使っています。みなさんも全校集会などで、話をしている人がスマホのようなものを首にかけているのを見たことがあると思います。それがロジャーという機器です。話している人の声を補聴器に届けるための機器です。授業中は、先生にロジャーを首にかけてもらって、ぼくは授業を受けています。

ロジャーがないと、聞き間違えたり、聞き取ることができなかつたりすることがあります。他に困ることは、自分の背後からの音や声には、反応しづらいことがあります。例えば、自転車に乗っている時、後ろで走っている車のエンジン音や歩いている時に声をかけられると聞き取りづらいことがあります。そういうときには、自分で音や声を想像したりして過ごしています。解決できそうにないときには、少し気をつかってもらえたり、少しでも手伝ってもらえたら嬉しいです。

難聴者だからといって、苦勞することばかりとは限りません。難聴者だからこそできることがあります。例えば、聞きたくない音は補聴器をはずして聞かないようにしています。

難聴は、人によって深刻さや生活の仕方などが違います。しかし、一人ひとりの個性でもあります。からかうことはもちろんしてはいけないことです。だれでも、困っている時、助けられると嬉しいと思います。だれもが生活しやすい世の中になれば良いと願っています。